

平成 28 年 8 月 5 日

## 平成 27 年度 学校関係者評価委員会報告

学校法人平成医療学園 なにわ歯科衛生専門学校  
学校関係者評価委員会

学校法人平成医療学園 なにわ歯科衛生専門学校 学校関係者評価委員会は、平成 27 年度自己評価報告書に基づき、学校関係者評価を実施し、以下の通り報告いたします。

### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 小谷 泰子 (医療法人美和会 平成歯科クリニック院長・大阪府歯科医師会 理事)
- ② 藤川 みどり (五條歯科医院 事務長・歯科衛生士)
- ③ 宮内 修平 (みやうちデンタルクリニック 院長・日本歯科審美学会 会長)
- ④ 品田 和子 (公益社団法人 大阪府歯科衛生士会 常務理事)
- ⑤ 吉岡 宏之 (株式会社ヨシオカ 代表取締役社長)
- ⑥ 亀岡 伸行 (株式会社ヨシオカ 取締役 営業部部長)

#### (事務局)

- 岡田 光司 (なにわ歯科衛生専門学校 顧問)
- 栗石 聡 (なにわ歯科衛生専門学校 校長)
- 渕端 孟 (なにわ歯科衛生専門学校 名誉校長)
- 松本 啓子 (なにわ歯科衛生専門学校 教務顧問)
- 中西 久美江 (なにわ歯科衛生専門学校 教務主任)
- 吉岡 裕美子 (なにわ歯科衛生専門学校 教務主任)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

開催日:平成 28 年 7 月 30 日(土)15 時 00 分～17 時 00 分

開催場所:なにわ歯科衛生専門学校 2 階会議室

#### 3 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

## I 重点目標について

歯科医療の現場では、様々な疾病に対応すべく、知識と技術を向上させることが重要であると考えます。現在、臨床の現場では歯科衛生士が不足しており、卒業生についても即戦力を求められる傾向が強くなっている。この点では、自己評価報告でも、臨床現場のニーズや業務内容の深化に対応する姿勢が窺える。新たな取り組みや指導を行うことで、より実践的な教育に繋げてほしい。

また「優れた人間性を備えた人材の育成」という、学校創立時からの躰教育重視という点についてであるが、これらは知識や技術とは別に、社会人・医療人として必ず求められるものである。教育する側としては神経を使い労力も必要であるが、現場では常に意識してほしい。

なにも歯科衛生専門学校は、平成 27 年度に夜間部一期生が卒業し、これからは毎年 100 名を超える歯科衛生士を輩出することになる。優れた人材を輩出できるよう、教職員が一丸となり指導に当たってほしい。

## II 各評価項目について

項目	評価
基準1 教育理念・目的・ 育人間像	開校以来 30 年余に渡って人材育成に力を入れており、多くの卒業生が第一線で活躍している現状からも、それは伺える。今年から夜間部の卒業生を輩出したことから、今まで以上にきめ細やかな指導(人財育成、勤労学生へのサポートなど)を行うことを期待したい。
基準2 学校運営	各種委員会や会議により、学校運営は組織的に円滑に行われていると思われる。学校法人としても、医療系人材育成に注力していることが伺える。
基準3 教育活動	教育については、各種規則に則り運営が行われている。学生アンケート等、前年度より取り組みを行えた項目も多く、今後も授業評価を含めた取り組み体制を行ってほしい。 また昼夜間体制となったことでの課題(教育体制・人員体制など)についても、引き続き検討を行ってほしい。
基準4 学修成果	国家試験の合格状況については、2 年連続で合格率が全国平均以下となり、より一層の強化対策の検討が必要だと思われる。 就職状況については、昼間部は良好であったが、夜間部の学生は社会経験者が多く、昼間部とは異なる指導方法が必要かと思われる。

基準5 学生支援	担任制により学生指導を行っているが、学生状況も多様化しており、経済問題、学生のメンタルヘルスなどについては専門の者を置いてもいいのではないかと。 学生支援についての取り組みは積極的に行っているようなので、退学者の減少に尽力を願いたい。
基準6 教育環境	昨年度は視聴覚設備の追加設置やエアコンのメンテナンス契約など、学生からの要望が強かった部分で改善が行えたようである。校舎の老朽化についても順次対応をお願いしたい。女性の視点から、ロビーやサニタリー系なども見直しを行ってはどうか。 津波避難ビル登録など防災安全面対策に力を入れていることも伺える。
基準7 学生の募集 と受入れ	入学者が確保できており、募集・入試の取り組みも適正に行われている。今後の少子化を見込み、媒体を使用した広報的な情報配信にさらに取り組んでほしい。
基準8 財 務	大学ホームページ上で学園全体の財務状況が公開されており、内容に関して特に問題はないと思われる。
基準9 法令等の遵守	法令遵守に則った運営を行っており、今後も継続していくことが望まれる。
基準10 社会貢献 ・地域貢献	長年に渡って、地域での歯科診療実習などを行っており評価できる。社会貢献的なもの(ボランティア活動など)があまり見られないので、今後はこういった部分にも積極的に携わってほしい。
その他 国際交流	昼間部はロサンゼルス研修における現地学生や講師との交流が何年も続いており、講師が来日した際にも卒業生の研修に参加頂いた。

### Ⅲ 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価結果は、外部から見る本校の客観的な状況として捉え、今後の学校運営を考える大切な情報であると認識している。よって学校関係者評価結果は、それらの内容に応じた部門で共有され、各部門会議(運営者会議、教務委員会、教職員会議等)により、今後の課題の抽出や対応策の検討に役立てられている。

項 目	評 価
基準3 教育活動	昼間部と夜間部、各学年間での意思の疎通が行われるよう、打ち合わせの時間を以前より多くとるようにしている
基準4 学修成果	国家試験対策プログラムの設定。模擬試験の実施計画を作成。
基準5 学生支援	学生へのメンタルヘルスについてカウンセラーを置くことを引き続き検討している。経済的問題については、現状職員対応であるが、学生が相談しやすい環境を作ること、職員のスキルアップ(知識力の向上)に努めている。

基準6 教育環境	視聴覚設備の充実化を継続検討。空調整備や館内補修については随時行っている。
基準7 学生の募集 と受入れ	WEB媒体(ホームページ、LINEなど)を有効活用し、定期的に更新・配信を行っている。その他の媒体についても順次検討している。
基準 10 社会貢献 ・地域貢献	
その他 国際交流	この 5 月に中国の杭州口腔医院看護学科学生の来日による合同講義を行っており、今後の定期的な交流が期待される。

以上